**第５９回観察会　2008年2月21日(木) 12:05～12:55　晴れ**

**テーマ『越冬中の虫たち』**

ガイド：吉本治一郎さん（京都大学農学研究科）

**☆参加者の感想**

* 久しぶりの快晴に恵まれ楽しい１時間でした。冬眠の虫には出会いが少なかったが、コクワガタの幼虫を発見されたがお寒いのにお気の毒と思いました。
(参加～５回、男性、京都市内のかた)
* 天気がよくて、観察会日和でしたね。
(参加１０回以上、１８～３０才、男性、京大農学部昆虫生態院生のかた)
* 暖かい陽ざしで、観察日よりでした。
(参加～１０回、３０～６０才、女性)
* 快晴のもと、日頃気にしない所にムシ達が冬越えしているのを知りました。自然の中にムダなものはないと思いました（朽木や枯葉等）。
(参加～５回、６０才以上、男性、京都市内のかた)
* 枯枝の中にいろいろ虫の幼虫がいる事の発見ですが、中々自分では見た目では分かりずらく、説明していただき少しは枯木にも目を向けて見たいと思います。
(初めての参加、６０才以上、女性、京都市内のかた)
* 朽木や、名札のウラや木のウラなど、暖かく、雨のあたらない所をうまく探して越冬している虫たちの様子がよくわかった。
(参加～５回、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* 吉本さん、いつもお疲れさまです。ありがとうございました！！嘉田修平
(参加１０回以上、１８～３０才、男性、京大農学部昆虫生態)
* よい気分転換に成りました。ありがとうございました。
(参加～５回、１８～３０才、男性、京大農学部資源学生)
* 里山を歩くとき参考になります。
(参加～１０回、６０才以上)
* あたたかくて気持ちがよかった。朽ち木の腐り具合によって利用する昆虫がちがうというのが面白かった。キイロテントウがきれいだった。
（参加１０回以上、１８～３０才、女性、京大院生）